

## 令和2年度 第2回市政モニターアンケート

### 「清掃センターへのごみの持ち込み」の集計結果からの考察

清掃センターへ直接持ち込んだ家庭ごみを無料で受け入れるサービスは便利と感じている。

ごみの収集時間に間に合わなかった時や、大掃除、引っ越し時などごみの量が多い時に持ち込むことが多いようです。清掃センターへの家庭ごみの持ち込みの頻度は人それぞれですが、便利なサービスとして利用されています。

ごみの持ち込みを予約制にするなら、電話でもインターネットでも予約できる「便利な仕組み」であるメリットを知らせる工夫が必要である。

予約制は賛成が多くありましたが、清掃センターが混雑すると思っていない市民は、自分が利用したい時に利用できない時などに不便を感じ、予約制の必要性を感じていません。

予約制を導入する場合には、誰でも簡単に予約できるように電話やインターネットなど予約方法が選べ、さらに持ち込み時間に幅を持たせるなどの工夫が求められています。

ごみの持ち込みの有料化はごみの削減につながる。  
有料化するなら、不法投棄対策と市民の負担増の不安解消が必要である。

有料化は、ごみの削減につながるという見方がある一方、家計への負担増となるという意見があります。また、不法投棄が増えるのではないかと心配する意見もあります。

有料化を進めるにあたっては、市民にごみの削減の意識啓発をするとともに、不法投棄対策を行うこと、家計への大きな負担にならない料金体系を検討することが必要です。

市民に、清掃センターの現状や課題を伝え、ごみの減量について啓発することが必要である。

清掃センターへの持ち込みの集中を防ぎ、混雑を解消するためには、清掃センターの現状を市民に伝えることが必要です。ごみの出し方やルール の周知に加えて、効果的な情報発信を行い、市民の意識を変えていくことで、清掃センターへのごみの持ち込みについての課題解決につながるという意見があります。広報ふじのみやで、ごみの減量や清掃センターについて詳しく掲載したり、様々なメディアを活用することなどの提案がありました。